

開講科目名	化学英語演習		
担当教員	野口 ジュディー 津多江	開講区分	単位数
		通年	2単位

授業のテーマと目標

English is essential for professional communication among scientists and engineers today. This course will include active practice of all four skills of reading, writing, listening and speaking.
 現在、科学技術分野では専門英語は必要不可欠となっている。ESP (English for specific purposes) の手法やツールを利用して専門英語の読み、書き、聞き、話すスキルを磨くことを目的とする。

授業の概要と計画

Students will learn how to talk about their research in English in informal discussions as well as in formal oral conference presentations and how to write it up as a paper in English for journal publication. The class will be conducted in a workshop style with English being used as much as possible.
 言語習得に必要な練習を授業中だけでなく宿題により行う。さらに各自の研究についての専門レベルのコミュニケーション・スキルの磨き方を学ぶためにワークショップ形式の授業を行う。前期は口頭発表、後期は論文執筆を中心に行う。

成績評価方法と基準

出席およびクラスでのディスカッションへの参加状況 (30%)、レポート (30%)、プレゼンテーション (20%)、ポートフォリオ提出 (20%)

履修上の注意(関連科目情報等を含む)

Basic English skills and the desire to learn 英語の基礎知識と学ぶ意欲。

オフィスアワー・連絡先

学生へのメッセージ

テキスト

前期： 理系たまごシリーズ (4) 理系英語のプレゼンテーション (野口ジュディー、幸重美津子、ALC, 2007)
 後期： 理系たまごシリーズ (3) 理系英語のライティング (野口ジュディー、深山晶子、岡本真由美、ALC, 2007)

参考書・参考資料等

開講科目名	論文講究I(09)		
担当教員	応用化学各教員	開講区分	単位数
		通年	2単位

授業のテーマと目標

外国語（特に英語）により記載された各教育研究分野に関連する学术论文・報告書等の講読を通して、専門分野に関する理解と動向に関する理解を深める。

授業の概要と計画

雑誌会形式による論文内容に関する相互のプレゼンテーションを通じて、学術発表に関する基本的なルールを習得する。開講は各教育研究分野に基づく研究グループ単位等で行う。評価は以下の項目評価を行うが、すべての項目を評価対象とするのではなく、各教育研究分野における教育研究に最も効果が期待できる方法を考慮して評価される。

- ・学术论文・報告書（英語）等の講読
- ・修士論文研究課題または関連分野に関する論文内容のプレゼンテーション
- ・上記プレゼンテーションにおける質疑応答への参加

成績評価方法と基準

開講時の参加状況、論文プレゼンテーションの結果を総合評価する。論文の内容を十分に理解して基礎知識を取得し、意欲的にプレゼンテーションの質疑応答に参加したと判断できる場合を優、論文の内容はよく理解したが、積極性が十分でない場合を良、論文内容について最低限の基礎知識は習得したと判断される。

履修上の注意(関連科目情報等を含む)

特になし。

オフィスアワー・連絡先

特になし。

学生へのメッセージ

特になし。

テキスト

特になし。

参考書・参考資料等

授業中に指示する。

開講科目名	論文講究II(09)		
担当教員	応用化学各教員	開講区分	単位数
		通年	2単位

授業のテーマと目標

外国語（特に英語）により記載された各教育研究分野に関連する書籍の講読・輪講形式による相互のディスカッションを通じて、専門分野に関する専門書の読解力と専門的理解とを深める。

授業の概要と計画

開講は各教育研究分野に基づく研究グループ単位等で行い、以下の項目に関して評価を行う。

- ・ 教育研究分野に関連する学術著書（英語）の講読
 - ・ 上記著書に関連する相互の質疑応答・ディスカッションへの参加
- 研究グループ主催の研究会等の参加によるディスカッションへの参加、外国人講演会への参加によるレポート提出等、本人の専門分野における外国語能力の向上に寄与すると認められる内容についても評価対象とする。なお、研究グループにより、論文講究IIの開講方法を論文講究Iの内容にて代替することもある。

成績評価方法と基準

評価に関する目安は、書籍の内容を十分に理解して基礎知識を取得し、意欲的に質疑応答に参加したと判断できる場合を優、書籍の内容はよく理解したが、積極性が十分でないと判断できる場合を良、書籍内容について最低限の基礎知識は習得したと判断される場合を可とする。外国語による講演会・研究会等への積極的な参加についても評価対象となるので考慮されたい。

履修上の注意(関連科目情報等を含む)

特になし。

オフィスアワー・連絡先

特になし。

学生へのメッセージ

特になし。

テキスト

特になし。

参考書・参考資料等

授業中に指示する。

開講科目名	特定研究(09)		
担当教員	応用化学各教員	開講区分	単位数
		通年	4単位

授業のテーマと目標

研究科規則に従い、学生の研究能力を高めるために、学生ごとに特定の研究課題を設けて演習を行う。

授業の概要と計画

各修士論文テーマに基づき、指導教員が実施する。

成績評価方法と基準

修士論文研究課題に関する中間報告をもって特定研究課題提出とする。評価項目に関する目安は、演習の内容に意欲的に取り組み十分に理解して修士論文テーマに適用可能な知識を取得したと判断できる場合を優、演習の内容はよく理解したが、積極性が十分でないと判断できる場合を良、演習内容について最低限の基礎知識は習得したと判断される場合を可とする。

履修上の注意(関連科目情報等を含む)

特になし。

オフィスアワー・連絡先

特になし。

学生へのメッセージ

特になし。

テキスト

特になし。

参考書・参考資料等

授業中に指示する。

開講科目名	研究指導(09)		
担当教員	応用化学各教員	開講区分	単位数
		通年	
授業のテーマと目標			
授業の概要と計画			
成績評価方法と基準			
履修上の注意(関連科目情報等を含む)			
オフィスアワー・連絡先			
学生へのメッセージ			
テキスト			

参考書・参考資料等

--